

6 グローバルデリバリー

# NTTデータグループ／パートナーと連携し グローバルデリバリー支援を強化

技術革新統括本部グローバルデリバリー推進室（以下、GD 推）では、当社のビジネス拡大、生産性向上およびグローバル全体でのデリバリー強化施策を実施してきた。デジタルデリバリーセンタ設立を経て、Global Digital Delivery Lab サービスを立上げ、インド拠点と連携しながら、デジタル技術者を提供している。今回はその取り組みとインド拠点の Capability について解説する。

## グローバルデリバリー推進室の役割

NTTデータでは Global Top5 に向け、グローバル全体でのデジタル人材の需要に対して、70 地域（25 カ国）、4 万人以上のオフショア／ニアショア人材を有しており、グローバルで IT サービスを展開している。

その中で、技術革新統括本部 GD 推では、デジタル技術というホリゾントラルな枠組みでのグローバルデリバリーの課題解消やアセットビジネス促進をミッションに、日本および各地域事業会社（以下、OpCo）と連携しながら活動している。

## Global Digital Delivery Lab の概要

昨今、デジタル領域の急速な需要拡大に伴い、適切な技術者を迅速に配置できていないという課題がある。そこでGD 推では、NTTデータ先端技術株式会社との協業により、デジタル領域の各ビジネスフェーズのニーズに対応するため、最適な技術者の獲得・育成・管理機能をワンズ



株式会社 NTT データ  
技術革新統括本部 GD 推進室

(左) 室長 佐藤 敦氏

(中) シニア・エキスパート 江中 敏大氏（出向中）

NTT Data Global Delivery Services Pvt. Ltd.

(右) Senior Director Nanji, Zaheer 氏（出向中）

トップで提供可能なサービス “Global Digital Delivery Lab（以下、GDDL）” の提供を開始した。

GDDL は、予め技術者の需要を見極めながら、NTTデータグループでインドにオフショア機能を持つ NTT DATA Global Delivery Services

Pune 拠点（以下、GDS Pune）およびビジネスパートナーと連携し、デジタル領域に特化したタレントプールの構築・運営を行い、各 OpCo に技術者を提供している。特に、GDS Pune とは双方向で出向者を派遣し、各々の組織で活躍している。

## NTT DATA Global Digital Delivery Lab スキーム概要

Global Digital Delivery Lab(GDDL)は、NTTデータ先端技術株式会社との協業により、主に海外OpCoに対して技術者やサービスを提供している。また、インドを中心としたビジネスパートナーとの連携も拡大しており、多様化する顧客ニーズに応えることが可能になっている。

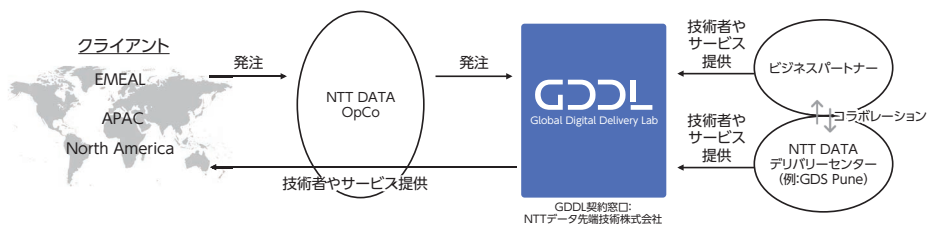


図1 Global Digital Delivery Lab の概要

今後は、GDDLを土台にNTTデータグループのアセットビジネス拡大やOpCoプリセールス支援など、複数のオフリングを展開し、グローバルデリバリーに関する付加価値の向上を目指す。

## GDS Pune

GDSは2万人以上の社員を抱えるインドのオフショア会社であり、北インドでは主にNoida、Gurgaon、南インドでは主にBangalore、Hyderabad、Chennai、Coimbatoreに拠点を構え、アプリケーション開発、保守運用、ビジネスプロセスアウトソーシング(BPO)やITアウトソーシング(ITO)などを遂行している。その中において、GDS Puneは対日オフショアおよびNTTデータ技術革新統括本部と連携した研究開発・アセット開発拠点という他のセンタとは異なる特徴を有しており、多くの日本語を扱う事の出来る技術者、および研究成果・アセットのデリバリーを担うことができる技術者を育成してきた。

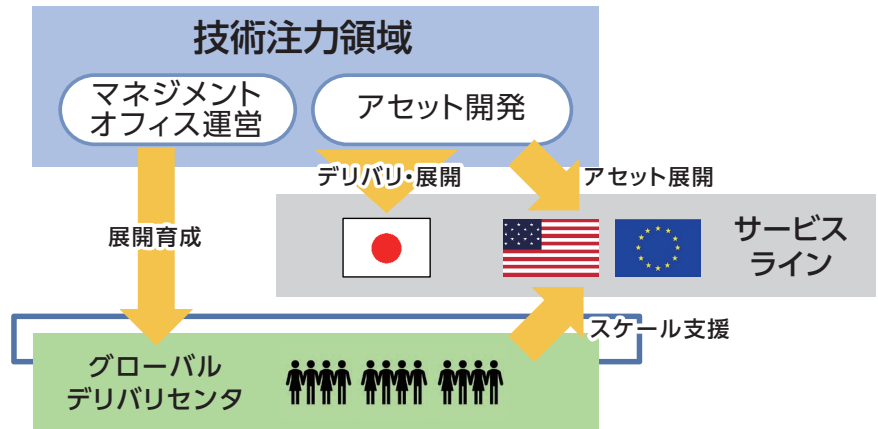


図2 GD 推のミッション

こうした背景から、NTTデータが定める技術注力領域に推進する拠点としてすでに各NTTデータグループ会社と連携し、技術注力領域ごとのLabがGDS Pune内に設置されている。特にクラウドとD&I(Data & Intelligence)においては成果が出始めている。クラウドでは、Amazon Web Services、Microsoft Azure、Google Cloud Platform等のインフラストラクチャに対するセキュリティ・ガバナンスを強化するプロダクトを対日顧客向けに開発して来っており、多くのプロジェクトに採用

も活躍を見せており、グローバルにNTTデータグループのクラウド技術活用に貢献している。

D&Iにおいては、EMEAL地域からの需要増加に対応すべく、急速に人材獲得・育成を行い、現在ではMicrosoft Azureのアナリティクス系サービス、Google Cloud Platformのデータアナリティクス系サービス、Snowflakeを中心に50名を超えるD&I技術者を有し、データエンジニアリング、データアナリティクス、DevOps、データウェアハウス、AI/MLといったD&Iの技術要素を広くカバーしている。

その他、3～5年後の成長事業として期待されるブロックチェーン技術においても、数年前からNTTデータ日本本社と連携し、同技術を活用したアプリケーション開発実施している。

アセットのメイキングからデリバリー、継続的エンハンスまでグローバル共有でアセットライフサイクルをサポートできる拠点として成長させていく予定である。

さらに、これらの開発において経験を積み重ねた技術者は、現在ではEMEAL地域におけるクラウドネイティブプロダクトの開発案件や、APAC地域におけるクラウドコンサルティング・プリセールスといった分野において

技術注力領域のスコープ

NTT DATA 技術注力領域	Cloud	<ul style="list-style-type: none"> <li>Cloud Consulting</li> <li>Application and Infrastructure Build (Development, Deployment, Migration)</li> <li>Service Management</li> <li>Cloud Security</li> </ul>
	D&I (Data&Intelligence)	<ul style="list-style-type: none"> <li>DSP Consulting</li> <li>Snowflake Development &amp; Implementation</li> <li>Hyper-scalers Development &amp; Implementation</li> </ul>
	ADM (Application Development Management)	<ul style="list-style-type: none"> <li>Value Stream Management / Consulting</li> <li>Agile / DevOps / CloudNative</li> <li>Low-Code Development</li> <li>iPaaS</li> <li>Workframe Development</li> </ul>
	EAS (SNOW/SFDC)	<ul style="list-style-type: none"> <li>Consulting &amp; Development</li> <li>Hands on Support</li> <li>[SNOW]CX/EX evolution</li> <li>[SFDC]DX Total Solution (w/ mulesoft, Tableau)</li> </ul>
	Cyber Security	<ul style="list-style-type: none"> <li>Security Consulting</li> <li>Implementation</li> <li>Security Operation Center operation</li> <li>Security assessment</li> </ul>

図3 技術注力領域